

ねぎ（野菜類）

病害虫	防除方法	防除上の注意事項
萎縮病	<ol style="list-style-type: none"> 1. ネギ類の畑近くに苗床を設けない。 2. 早まきを避ける。 3. 生育初期からアブラムシ類の防除を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 病原のシャロット黄色条斑ウイルス(SYSV)はアブラムシ類によって媒介されるので、アブラムシ類の防除を徹底する。 2. 4～5月に有翅アブラムシの飛来が多い。 3. 早植の場合は定植後も薬剤散布を行う必要がある。
えそ条斑病	<ol style="list-style-type: none"> 1. 無病苗を確保するため、防虫ネットを張った施設内での育苗、薬剤防除等の対策を実施する。 2. 罹病した植物体はほ場外に持ち出してビニール袋等で密封処分するか、土中深くに埋め込む。 3. ネギアザミウマの薬剤防除を実施する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 病原のアイリス黄斑ウイルス(IYSV)はネギアザミウマによって媒介される。特に、初夏および秋にはネギアザミウマが増加するため、注意を要する。 2. ネギアザミウマは薬剤抵抗性が発達しやすいので同一薬剤の連用は避ける。 3. 春から初夏は雑草にネギアザミウマが生息するので、ほ場周辺の除草を徹底する。